

ランチョンセミナー

地域の健康を支える企業の活動

日時 2018年11月23日（金） 12：15～13：15

場所 前橋テルサ 2階ホール（群馬県前橋市千代田町2-5-1）
<http://www.maebashi-cc.or.jp/terrsa/other/access.html/>



座長	篠崎 博光（群馬大学大学院保健学研究科 教授）
講演1 12：20～12：45	<p>母子健康情報サービスから始まるPHRの未来</p> <p>小林 寛史 氏 （一般社団法人 ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構 理事・事務局長）</p> <p>当社は様々な自治体の課題についてICTを用いてその解決を目指す企業です。特に近年では医療費、社会保障費の増大が問題となる中で、いかに市民の健康づくりを推進していくかが大きな課題となっています。</p> <p>当社ではそれをPHR（パーソナル・ヘルス・レコード）によって解決できないかと考えており、個人の健康に関する情報を電子データの形式で個人が管理していく世界を目指しています。</p> <p>PHRは自分自身のために活用することはもちろん、個人の判断で保健師や介護士に提供されたり、研究目的で活用されたりと有益な活用方法があります。</p> <p>当社ではPHRの第一歩として「母子手帳のPHR化」を推進しており、本セミナーでは電子母子手帳を中心にPHRの将来像をお話いたします。</p>
講演2 12：45～13：10	<p>医療ガスで地域の健康を支える</p> <p>鈴木 武 氏 （株式会社マルホン 取締役在宅医療部長）</p> <p>近年、医療用酸素は病院だけでなく在宅医療でも広く使われるようになってきました。この医療ガスを製造するカンサン株式会社と、販売する株式会社マルホンの業務をご紹介します。</p> <p>医療ガスは患者様にとってはライフラインであり、私達は安定供給することを社会的使命だと考えています。</p> <p>災害時でも事業を継続するための対策をいくつかご紹介します。</p> <p>日頃目立たない「ガス」なので、各種イベントを通じての広報活動も行っています。</p>

《お問い合わせ先：第83回 日本健康学会総会事務局》

群馬大学大学院保健学研究科 医療基礎学 林邦彦研究室内
 〒371-8514 群馬県前橋市昭和町3-39-22
 TEL&FAX：027-220-8974（平日9：00～17：00）
 Email：jshhe83gunma@gmail.com

